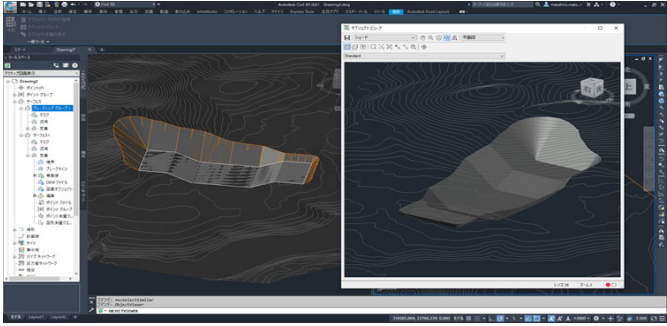


第5回 Civil3D セミナー ご質問と回答

2021.2.3

質問	回答
<p>造成面が複数段ある場合のグレーディングはどのようになりますか？ ex.えん堤の床付け面からの掘削線など</p>	<p>複数段あったとしても底面形状を計画線で作成すれば、グレーディング機能で法面を作成することが可能です。</p> 
<p>Civil3Dの土量算出について ・平均断面法とTIN土量サーフェスを使った方法がどちらが正確に土量算出できますか？</p>	<p>TIN土量サーフェスを使う方が正確に算出できます。平均断面法による土量計算でも横断抽出間隔を密にすることで計算精度を向上させることができます。</p>
<p>メッシュ土量を算出する方法のところ、格子点で標高差の値を表示する方法の説明がありましたが、現況と計画のサーフェスそれぞれに格子点の標高を表示する方法はありますでしょうか。</p>	<p>セミナーでは標高差の値のラベルを作成するためにグリッド土量サーフェスを対象にポイントオブジェクトとラベルを作成しました。現況と計画についてもそれぞれのサーフェスを対象にポイントとラベルを作成することで問題なくできます。</p>
<p>グレーディングで切土から作成した小段がTINサーフェスの面を超えることがあるのですが、面に合わせて摺り付け（またはカット）することはできるのでしょうか。</p>	<p>グレーディング機能で小段を作成する場合はターゲットがサーフェスではなく、相対標高で入力するので現況サーフェスに合わせて小段付き法面を作成することは難しいです。この場合はセミナーで紹介した切土/盛土のサーフェスを別途作成して、現況サーフェスに擦りつく位置で切断して作成する方法で作成して頂く方が良いと思います。</p>
<p>子段付き法展開を使用した造成面の作成で、Rの部分をも1mにしていたのはどういった理由からですか？ 長手方向と短手方向との勾配の違う法面のグレーディングを作成したい場合、留継ぎでなくRの状態で作図することは可能ですか？</p>	<p>フィレット半径を1mに設定したことについて特に理由はありません。任意の半径を入れて頂ければ結構です。また、長手と短手で法面勾配を変え、Rの部分で勾配を連続的に変化させて摺り合わせるのは難しいです。</p>